**事業番号** 0433

									于不田			0700	
						年行政	事業	レビューシ	<u>/ート</u>	([	国土:	交通省)	
事	業名	気候変動下での大規模水害に対する施策群の設定・ 選択を支援する基盤技術の開発			担当部	局庁	国土技術政策総合研究所			作成責任者			
	開始・ F定)年度	H 2 2 / H 2 5			担当	課室	河川研究部			部長 藤田光一			
会計区分 一般会計				施策	名	44 技術研究開発を			進する				
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)	国土交通省設置法第4条124号 国土交通省組織令第193号						適応策のあり	「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変動への 適応策のあり方について(答申)」社会資本整備審議会 (平成20年6月)				
(目打筒潔に	<b>の目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)	気候変動下での水害に対する適応策として、水災害リスクの低減に主眼を置き、従来の河川整備にとらわれず流域に踏み出す新たな施策も視野に入れるとともに、流域ごとの実態や過去の施策の積み重ねを踏まえて、かつ所定の期間内に実践できる実現性の高い施策オプションを選定・選択するための基盤技術を開発し、気候変動への適応策の実現を強く推進することを目的とする。											
(5行	<b>業概要</b> テ程度以 別添可)	水災害リスク 流域ごとに、	1)流域ごとの実態や実現可能性を踏まえた実務に使える施策オプションの拡充、(2)整備目標を超過する洪水時の被害低減効果を算定できる K災害リスク評価手法の開発、(3)従来の河川整備では必ずしも考慮されていなかった被害内容を制御する視点も取り入れて、タイプの異なる 危域ごとに、各種施策オプションが効果を発揮する具体条件の解明を行い、気候変動下での水害に対する適応策としての施策オプションを設 E・選択するための基盤技術としてとりまとめる。										
実別	<b>拖方法</b>	■直接実施  ■		委託•請負 □補助		□負担		口交付	口貸付	ロその	の他		
				21年度		22年度		23年度	24年	度	2	25年度要求	
		予	初予算	-		13		13	12	2			
	<b>車額 •</b> <b>↓行額</b> ∷百万円)	算補	正予算	-		_		-	-	-			
		11.	越し等	-		-	-		-	-			
(単位		況	計	-		13		13	12	2			
		執行	<b>亍額</b>	-		12		12					
		執行率(%)		-		89.9%		96.1%					
			成果	· ·指標			単位	21年度	22年度	22年度 23年		度 目標値 ( 年度)	
	目標及び 果実績	定量的な成果目標を示すことができない。			成果実績								
(アウ	トカム)	(理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施の成果が現れるのは、事業完了後となるため。				達成度	%						
		活動		指標			単位	21年度	22年度	23年	度	24年度活動見込	
	指標及び	定量的な活動指標を示すことができない。			活動実績								
活動実績 (アウトプット)		(理由)本事業では技術研究開発であり、箇所			(当初見込						_		
		数、件数、人数等で事業の進捗を表すことがで きない。			<b>み</b> )			(	)(	)	) ( )		
単位当たりコスト		単位当たりコストを示すことができない。											
		(理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施中において定量的な成果実績や活動実績を示すことができないため。				算出根拠							
	費 目 24年度当初予算 25年度要求				主な増減理由								
平成24・25年度予算		試験研究費 11 職員旅費 1											
内訳		=L	40										

	事業所管部局による点検									
	評価	項目	評価に関する説明							
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・外部有識者による評価委員会において「研究の背景を踏ま							
状・ 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	(評価結果)							
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	本研究は、気候変動に対する適応策のための研究として非常に重要な研究であり、国土技術政策総合研究所において重点的に実施すべきと評価する。							
資金の流れ、	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出先(業務請負者)選定の妥当性については第三者機関 である技術提案評価審査会により審議していただいた。							
	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せ や完了時に行う検査により業務の実施状況及び成果を把握し							
	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	た。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止した。また、主たる部							
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	分以外の再委託は、軽微なものを除いては、再委託承諾申請 を求め、支出先・使途を確認することとしている。なお、本事業							
· 目	$\circ$	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	──においては、再委託承諾申請を要する再委託はない。							
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	── - ・事業開始前に外部有識者による「効率性(研究の実施							
動実	$\circ$	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	方法、実施体制)」、「有効性(成果の見込みと活用方 一針)」等の評価項目に関する『事前評価』を受けており、							
績	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究 一成果と成果の活用方針」等の評価項目に関する『事後評							
成	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	価』を受けることとしている。							
果実	_	※類似事業名とその所管部局・府省名	→ ・H24年度については、複数の気候変動適応策の組み合わせ効果について検討した。今後は、今までの検討結果							
績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	──を事業への適応のためのガイドラインにまとめる予定。 							
点検結果	<b>検</b>   ・支出先の選定については、価格競争や企画競争により競争性の確保に努めた。   ・業務発注にあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について所内審査を行い、的確な執行に努めた。									
		予算監視・効率化チームの所	<b>E</b>							
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(	概算要求における反映状況等)							
		補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の交	対象となっている場合はその結果も記載)							
		関連する過去のレビューシートの事	業番号							
平成2	2年行政		女事業レビュー 0412							

※平成23年度実績を記入 国土技術政策総合研究所 12百万円 気候変動の影響評価・対策検討に関 する研究企画立案・成果活用の検討 【随意契約(簡易公募型プロポーザル方式)】 A. (株)建設技術研究所 12百万円 気候変動への適応策の効果の解析 資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っているか について補足 する) (単 位:百万円)

		A.(株)建設技術研究所		E.				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	雑役務費	気候変動への適応策の効果の解析	12			(Д.)		
	計		12	計		0		
	н	В.		н	F.			
	費目	使途	金 額	費目		金 額		
	具 日	世 巫	(百万円)	具 日	1丈 返	(百万円)		
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」								
ルセリングブロッ								
クごとに最大の 金額が支出され								
ている者につい								
たのにて、 クごとに最大の 金額が支出について記載する。費目と使態が分かいである。またでは、 で実行で記載する。								
で実情が分かるように記載)								
	計		0	計		0		
		C.		G.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)		
	計		0	計		0		
	D.			H.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			/ 11/2/11/			(213)		
	計		0			0		
	āT		U	ĒΤ		U		

## 支出先上位10者リスト

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	河川区域に講じる気候変動適応策の効果に関する調査業務	12	随意契約 (企画競争)	99.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

 B.
 支出祭
 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 1
 (百万円)
 人札者数 落札率

 3
 (1
 (2

 3
 (3
 (4

 5
 (5
 (6

 7
 (8
 (9

 10
 (10